

宇佐市隣保館だより

第287号

発行

宇佐市隣保館

宇佐市大字上田一〇四三番地の一
TEL 0978(33)1707

ご意見ご感想をお聞かせ下さい。



「世間っていったい何？」

大分県分野別人権教育・啓発・研修資料 同和問題」より

「世間体が悪い」、「世間をお騒がせしてお詫びいたします」などと私たちは、世間の目を気にして生きています。この世間が部落差別を正当化するときにも持ち出されます。部落出身者との結婚についても、「世間体が悪い」、「私はかまわないうが世間が許さない」などが理由としてあがってきます。

この世間というのは何でしょうか。世間という言葉は誰もが知っていて、日常

会話でしばしば使われています。明治時代の中頃に社会や個人という訳語が通用



する以前は、社会と個人という概念もなく、世間という言葉が社会に近い意味で

用いられていました。

西洋では、社会は、尊厳を持った個人が集まり、社会を作っていると考えられています。他方、日本では、

世間は個人の意思によって作られたものではなく、所与(しよよ)※人から与えられるものと見なされていて、個人の尊厳があまり認められていません。社会という言葉が持つている概念と実情に乖離(かいり)があるため、日常会話の中で世間という言葉を使い続けており、世間を基準に生きています。

人間関係を結ぶにしても相手がどのような世間に属しているか(出身校、出身地、会社、地位)を問題にして気心の知れない人とは付き合

わない、競争社会で個人がせめぎ合う関係の中で生きるより、与えられた位置を保ち心安らかに生きたいと思いつながら周囲を気にする等、自分以外の権威として

の世間に依存して生きているのです。世間は、差別的で排他的な本質をもっています。



日本の個人は世間の中で形成されます。しかし、世間は曖昧なものであり、その曖昧な世間との間で形成される日本の個人は曖昧なもので、人権が守られないのも世間の枠内で許容されてきたからです。

この世間体にとらわれることなく、一人ひとりが自らの尊厳を認識し、相互に認め合う、人権が尊重される社会を築く必要があるのではないのでしょうか。

♡平成27年度人権啓発推進協議会総会が開催されます！

来る7月29日(木)、宇佐文化会館(ウサノピア)大ホールにおいて、宇佐市人権啓発推進協議会総会が開催されます。

総会行事(30分程度)終了後には、人権講演会を予定しています。講師に部落解放同盟福岡県連執行委員の小西幸恵さんを招いて、「人権を大切にする社会をめざして」と題してお話をさせていただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



人権啓発マスコットキャラクター
こころちゃん

日時 7月29日(水)13:30~

場所 宇佐文化会館(ウサノピア・大ホール)

演題 「人権を大切にする社会をめざして」

講師 こにし ゆきえ
小西 幸恵 (部落解放同盟福岡県連執行委員)

今月のお奨め図書



著書名 「ありのままのわたしを生きる」ために
著者 土肥いつき
発行 JACE(一般財団法人日本児童教育振興財団
日本性教育協会)
トランスジェンダー当事者の
土肥いつきさんの本です。

特設人権相談所の開設日 7月14日(火)

	開催時間	開催場所
宇佐地区	13:30~16:00	宇佐市隣保館
安心院地区	9:00~12:00	総合保健福祉センター
院内地区	13:30~16:00	山村開発センター (院内支所内)

※人権擁護委員が、皆さんの悩みごとをお聞きします。お気軽にお越しください。

7月の休日開館

第2日曜日 7月12日 10:00~12:00

第4日曜日 7月26日 10:00~12:00

隣保館休日サロン

- ・ハローワークの求人票等の閲覧
- ・悩み事の相談等々

※当番の職員が対応します。普段お仕事等で来館出来ない方は、この機会に是非ご利用ください。

ヒューライツ・シネマ

上映映画 「未来を拓く5つの扉」

上映時間 第1回目 10:00~

第2回目 11:00~

上映場所 隣保館・集会室(2階)

※入場無料